

# 紙 一 重

その防災に対する備え&知識、マンションでは間違っているかも!? 正しい対策を知って、いざというときに備えましょう。

## 防災

**地震? 揺れたらもちろん机の下に隠れますよ。小学校時代からの習慣ですからね、ダメですか?**

固定することが大事

れてしまうリスクもあります。ば、ずれにくくなります。

机やテーブルの下は避難場所として有効です。ただし、地震の揺れがより大きくなる高層階では、家具や食器の倒壊落下が心配です。潜り込んだ机が固定されていないければ、それ自体が動くので危険な場合も。もし、そこに大きな家具が倒れてくれば、周囲をふさがれて机の下に閉じ込めら

れてしまうリスクもあります。家具は動かないよう対策を。テーブルや食器棚など、地震の際に凶器となりうる家具は、壁や床にしつかり固定しましょう。テーブルの脚の固定には、耐震用粘着ジェルか車のダッシュボードに置く滑り止めシートがおすす。適当な大きさにカットし、テーブルの脚と床の間にかませま

室内の最適な避難場所は? マンションの室内で安全なのは廊下です。一般的に廊下には家具やモノが置かれていないので、倒壊・落下物のおそれがなく、また玄関にも近いので地震時のセーフティエリアとなります。もし廊下に本棚などの家具を置いているなら、別の場所に移しましょう。

## 防災

**防災用品を収納する物置をベランダに設置しました。避難ハシゴで降りる際も手近だし、バッチリですよね!?**

ベランダは非常時の通路

避難時に玄関が使えない場合、ベランダは避難経路となります。災害時には、蹴破れる隔て板や避難ハッチに収納されているハシゴを通じて、他の住民が上から横からやってくる。避難の妨げになるので、ベランダに物置は厳禁です。

防災用品はどこに置く? 懐中電灯、ポケットラジオ、

乾電池、簡易トイレセット...、必要最低限の防災グッズは、リュックもいいですが、ベストに備えるのがおすす。この「防災ベスト」は、普段ハンガーにかけておけばOK。着るだけで避難できます。場所も取らず、すぐに取り出せ、防護服としても役立ちます。

避難ハシゴには、スライド式とパンタグラフ式の主に2種類があります。自分のマンションがどちらなのか、一度確認しておくのがいいでしょう。実際に避難ハシゴで降りてみると、想像以上に揺れますし、腕力が必要なのがわかります。いざというときに使いこなすためにも、マンションで行われる避難訓練に参加するのも、大事な備えでしょう。



[監修] 国崎信江 / 危機管理教育研究所代表、危機管理アドバイザー